

# 外国人技能実習生孤立防げ

## 相棒は地域住民

全国で外国人技能実習生の数が最も多い愛知県で、受け入れ団体が「バディー（仲間、相棒）制度」を導入した。地域住民が実習生一人一人の相棒となり、その生活を見守る仕組みだ。移民、難民が急増したベルギー・メヘレン市が取り入れ、効果を上げたことでも知られる。今後も拡大する技能実習生との共存に向けた新たな試みに注目が集まる。

「こんにちは！」。休日の朝、愛知県高浜市の住宅街にある古民家で、子どもたちの声が響いた。技能実習生の受け入れや指導を担う公益社団法人「トレイディングケア」の事務所兼研修センター。やってきたのはバディーの親子やその友だちだ。法人は4月、インドネシアから介護実習生の受け入れを始めた。第1期実習生は21、33歳の男女5人。この日は、子どもたちとスタンプラリーを楽しんだ。ミッションをクリアして点数を競う。日常生活に必要な日本語や生活習慣を身につけるのが狙いだ。

※2018年6月末現在、法務省の資料から



技能実習生が	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県
多い	21111	99999	19191	19191	19191
生都道府	11111	38375	37541	35711	32911
能多	①	②	③	④	⑤
	愛千広茨埼	知葉島城玉			

### 最多の愛知で新制度導入

ん(44)は「引っ込み思案の9歳の娘が、実習生に折り紙を教える時は生き生きしている。いい経験です」と話す。新美代表は「実習生は生活面の支援が手薄になりがちで、孤立感から失踪につながることもある。地域に受け入れられているという実感があると、安心して実習に打ち込める」と説明する。

実習生のウインドウ・ハデイウィジャヤさん(28)は母国に妻と3歳、1歳の子どもがいる。「バディーはみんなやさしい。子どもが遊びにくると自分の家族を思い出し、す」と笑顔を見せた。

研修を終えた5人は6月から実習先の介護施設に移った。施設を運営する社会福祉法人にとって初めての受け入れで、新美代表らの取り組みに共感し、寮の近所でバディーになってくれる人の募集を始めた。早川一洋統括施設長は「生活する地域で、新しい人間関係が生まれてくれるとうれしい」と期待している。

【太田敦子、写真も】

# チェック